

**事業所名**            **日本伸縮管株式会社**  
**(2012年6月1日より日本ニューロン株式会社)**

**企業概要**

代表者名            代表取締役 岩本 泰一  
住 所                京都府相楽郡精華町光台3-2-18  
U R L                <http://www.neuron.ne.jp>  
主たる事業        伸縮管継手・フレキシブルチューブ・  
ダンパ・圧力容器の設計製作



**企業紹介**

けいはんな学研都市に立地する「研究開発型中小企業」です。“製管・成形・溶接のクラフトマンシップ”と“設計・分析・検査・測定のエンジニアリング”を武器に、「日本ニューロン株式会社」として生まれ変わりました。



**補助対象事業の概要**

事業のテーマ:

新規製作品“ダンパ”の設計開発・独自の生産体制を確立することによる新販路開拓事業  
事業の目的と具体的内容

当社の強みである溶接技術、製造設備を活用し、けいはんな本社工場にて”ダンパ”の設計・製作を行い、社名を「日本伸縮管(株)」より「日本ニューロン(株)」へ変更し、伸縮管継手だけでなく、配管機器のトータルメーカーを目指す。

試作品を設計・製作し、設計・製造ノウハウを社内に構築する。また試作品の検査・評価を行い、伸縮管継手の製造技術を活かした、生産体制を確立する。新たにカタログを作成し、ホームページをリニューアルすることで、新規顧客開拓をめざす。さらに、既存顧客にもメディア（業界雑誌広告等）を利用し、ダンパの設計製作開始をPRする。

**補助金を受けた成果と今後の展開**

成果として、顕著に表れたのは、ホームページのリニューアルと業界雑誌の広告を3回掲載した結果、当社の既存顧客より、伸縮管継手の見積依頼のみでなく、ダンパの依頼も一緒に受けるようになったこと。逆にダンパ顧客より、伸縮管継手の見積依頼を受けたこと。両社ともに雑誌の広告やホームページを見てとのことで、課題であった、ダンパ業界での知名度、認知度をあげていくには、メディア戦略が有効であった。

また、継承元メーカーの既存顧客からは、試作品によりPRした結果、製造技術の評価いただき、取引の継続が来ている。

今後の展開としては、展示会への出展や、顧客先でのPR会を行い、今回の補助事業の成果をさらに有効に利用し、販路拡大、売上増加を狙う。

